

●三位一体後第十九主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第四十一編」

いかに幸いなことでしよう

弱いものに思いやりのある人は。

災いのふりかかるとき

主はその人を逃れさせてくださいます。



## 悲しみが喜びに変わる

主は弟子たちに「あなたがたは泣いて悲嘆に暮れるが、世は喜ぶ。あなたがたは悲しむが、その悲しみは喜びに変わる」とお語りになりました。主が十字架につけられ、殺される時、弟子たちは悲嘆に暮れるのですが、その後、復活の主に再び会うと悲しみは消え去り、それは喜びに変わるのです。

その時のことを見て、主は言われました。「女は子供を産むとき、苦しむものだ。自分の時が来たからである。しかし、子供が生まれると、一人の人間が世に生まれ出た喜びのために、もはやその苦痛を思い出さない」と。更に「今はあなたがたも悲しんでいる。しかし、わたしは再びあなたがたと会い、あなたがたは心から喜ぶことになる。その喜びをあなたがたから奪い去る者はいない」と語られました。

今はそのための産みの苦しみの只中におられる主。その産みの苦しみに更に激しくなるのです。この後、捕らえられ、不義に満ちた裁判、偽証人たちも現れ、あらゆる侮辱の言葉を浴びる主。そして、異邦人に引き渡され、鞭打たれ、嘲られ、恥辱を受けられ、十字架に付けられて死なれるのです。弟子たちは悲嘆に暮れる時を通して、主のその産みの苦しみを知るのでした。

後に復活の主に出会い、弟子たちはそれまでの主の歩みが自分たちを生かすための産みの苦しみであったことに気が付かされるのです。人は自らの罪ゆえに主を殺しましたが、神は御子を死ぬべき人の代わりに代償のささげ物とされたこと。御子はその神の御心に従い、ご自身をささげられたこと。それがすべて自分のためになされたことだと知るのでした。そして、神がこの聖なる方のお体を朽ち果てるままにはしておかれず、甦らせられ、ご自分の右の座に着かせられることを知るのでした。

復活の主は「死んでも生きる道」を示されました。神の良い業に生きることが、すべてを失い、死ぬことのように、実はそれが甦りの道、いのちの道、すべてを得る、栄光に輝く道であることを、主はご自身の甦りによって確証してくださったのです。

以前、主は弟子たちに「世はあなたがたを憎む。わたしを迫害したのであれば、あなたがたをも迫害する」と、更に「会堂から追放され、殺される」と語られました。「あなたにある喜びを奪い去る者はいない」とは、憎まれ、迫害され、追放され、殺されることがなくなるという意味ではありません。実際に彼らは主が予告された通り、憎まれ、迫害され、追放され、殺されるのですが、それが復活の主イエスにお会いした喜びを奪い去るものではなかったのです。使徒パウロもローマ書8章で「誰がキリストの愛から私たちを引き離すことができません。艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か」と告白しているのです。

私たちはキリストの後を続いたその使徒たちの証しの上に立っています。彼らが迫害を受け、あらゆる困難と苦難の中、「屠られる羊のよう」にされ、彼らも産みの苦しみのような時を通過したのは、私たちの教会にも死んでも生きる道、甦りの道、栄光に輝く勝利の道を示すためです。いついかなる時にも、主イエスの道こそ生きる道。迷わず怯まず真直ぐにその道を歩くようにと確信を与えるためです。彼らは自らが主イエスの産みの苦しみにあずかることを喜びとし、当時の教会に、また後の教会にも彼ら自身、主イエスにある甦りの希望を抱いて生きていたことを証したのです。キリストの産みの苦しみに与り、甦りの希望を示した、力強い使徒たちの証しの上に、教会は立っているのです。

そしてその証しは私たち一人ひとりにもこの時代、主イエスの産みの苦しみに与る教会として歩むようにと、促されているのではないのでしょうか。あらゆる悲しみと困難、また患難が待ち受けていても、不義が不義と見られず、真実の業が闇の業とされることがあっても落胆しません。主が甦られたからです。

むしろ主が来られる時まで、私たちにお示しくださった「よい業」に励んでいきるのです。栄光の主に従い、私たちも真に人が喜びに与るため、通らなければならぬ産みの苦しみがあれば、もたらされるその良い結果を先に見て喜ぶのです。

2024年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○ 礼拝後、地下ホールで讚美集会和信仰者に学ぶ会を行います。聖書、讚美歌をお持ちの上、ご参加ください。

○ 運営委員会、各小委員会がそれぞれ開かれます。

○ 次回の洗礼式と転入会式は一二月二日のクリスマス礼拝です。受洗・転入会をご希望の方は願書をお書きになり、本日中午に牧師宛ご提出ください。願書は教会事務所にあります。

○ 一二日(土)二五時から礼拝堂で附属幼稚園のミュージカルが行われます。

《ぶどうの会より》

学び会があるため、本日のぶどうの会は休会です。

《ミニバザーより》

次週一〇月一三日のミニバザーは、

販売は「ジャケット類」

お受け取りは「セーター・ブラウス類」です。

開始時間は、交わりの会後の一三時です。

どうぞよろしくお願いいたします。

# 《ジュネーブ教会信仰問答》

第十七聖日

使徒信条「からだのよみがえり

永遠のいのちを信ず」に関して

問一〇六 その次は。

答 身体のよみがえりおよび永遠の生命。

問一〇七 どうして、この個条がおかれているのですか。

答 われわれの幸福は地上にないことをわれわれに示すためであつて、これは二つの目的をもっています。第一にわれわれは、あたかも外国を旅するかのように、この世を過ごし、地上のすべての物を抑制して、われわれの心を、少しもこれらにおかないことを学ぶためであり、次に、イエス・キリストにおいて、主がわれわれになさった恵みの成果を、たといまだ見ていなくても、われわれは勇気を失わず、その現われる時まで忍耐して待つべきことを学ぶためであります。

問一〇八 このよみがえりは、どのようにしておこりますか。

答 その時より前に死んでいる人々は、彼らの体、しかし性質の異なる体を、再び着るでありましょう。それは同じ物質でありながら、もはや死ぬことや、墮落することのないものです。また、なお生存している人々は、すでにのべたように、神は突然の変化によつて、奇跡的によみがえらせなさるであります。

問一〇九 このよみがえりは、良い人々にも、悪い

人々にも、共通ではないのですか。

答 そうであります。しかし、それはまさに、

異なつた条件においてでありましょう。

なぜならば、一方は救いと歓喜によみがえり、他方は刑罰と死によみがえるのでありますから。

問一一〇 ではなぜ、永遠の生命についてのみ語られていて、よみについても語られていないのですか。

答 なぜならば、この要約には、信徒たちの心の慰めに適切でないものは、何もおさめておりませんので、神がその僕たちになさる、もろもろの善きことについてだけ語られております。従つて、み国から追放される不義な人々については、少しの記述もないのであります。

外山八郎訳（新教出版社1979年）

## 《今日の子ども礼拝》

説教 「うろたえるな、恐れるな」

聖書 ヨシユア記1章1〜9節

説教者 吉村和雄 名誉牧師

## 《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「城壁が崩れ落ちた」

聖書 ヨシユア記6章1〜5節

説教者 宮間彰広 兄

●主日礼拝（午前10時30分）

讚美歌 74番 331番

説教 「わたしは既に世に勝っている」

聖書 ヨハネ16章25〜33節

説教者 黄允湜 牧師





## 主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 301番 19番  
説教 「神の言葉をないがしろにするのは良くない」  
聖書 使徒6章1～7節(新約 P.223)  
司式 石川 一兄  
聖餐司式 黄 允湜 牧師  
説教者 宮間 彰広 兄

前奏曲「天に在します我らの父よ」 G.バーン

### ○讃美歌301番

1. 山べにむかいてわれ目をあぐ  
助けはいずかたより きたるか  
あめつちのみかみより たすけぞわれにきたる
2. み神は汝の足をつよくす  
み守りあれば汝は うごかじ  
みたみをば守るもの まどろみねむりまさじ
3. み神はあだをふせぐ たてなり  
汝が身をつねに守る かげなり  
よるはつき ひるは日も 汝をばそこなうまじ
4. み神はわざわざいをも さけしめ  
疲れしたましいをも やすます  
いずるおり いるおりも たえせず汝を守らん

アーメン

### ○聖歌隊による讃美

「幼な児のようになれなかった」

水野源三 作詞 川口耕平 作曲

1. 主よ  
御言葉を聞いたのに  
幼な児のようになれなかった  
我が心に今日も  
清けき御言葉を語り給え  
語り給え

2. 主よ  
御心を知ったのに  
幼な児のようになれなかった  
我が心に近づいて  
くすしき御心を示し給え  
示し給え
3. 主よ  
みめぐみに触れたのに  
幼な児のようになれなかった  
我が心に目を留めて  
尊きみめぐみを与えたまえ  
与えたまえ

### ○讃美歌19番

1. みこえきくとて みまえにつどいぬ  
あまつみおしえ ゆたかにたまえや  
こころもわが主と ひとつに合うまで
2. 知恵とさとりは くらきに閉ざされ  
みたまのちから うくるによしなし  
わが主よ みひかり とく照らしたまえ
3. さかえの主なる ひかりのひかりよ  
われらのくちと ところをひらきて  
いのりとほめうた ささげしめたまえ

アーメン

聖餐曲「み声きくとて」 S.カルク=エラート

後奏曲「マエストロズ」 M.E.ポツ

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。